【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公開番号】特開2000-52421(P2000-52421A)
【公開日】平成12年2月22日(2000.2.22)
【出願番号】特願平11-200292
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　59/08　(2006.01)
Ｂ２９Ｄ　7/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/08　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/122　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　59/08
Ｂ２９Ｄ　7/00
Ｇ０２Ｂ　1/04
Ｇ０２Ｂ　5/02　Ａ
Ｇ０２Ｂ　5/08　Ｚ
Ｇ０２Ｂ　5/122
Ｇ０２Ｂ　5/20　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月13日(2006.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　第1の主要面および第2の主要面を有する光学ポリマフィルムを提供するステップと、
該第1の主要面および該第2の主要面のうちの少なくとも1つを火炎バーナーおよび無炎放射バーナーから選択されたバーナーにさらすことにより軟化させて軟化面を形成するステップと、
該軟化面にエンボス加工を施してエンボス付き光学ポリマフィルムを作製するステップと、
該エンボス付き光学ポリマフィルムを冷却するステップとを含み、
該フィルムが軟化、エンボス加工および冷却されている間、バーナーの炎のパワーや滞留時間の条件が、所定の波長域において、前記光学ポリマフィルムの反射率が、エンボス加工を施す前の前記光学ポリマフィルムの反射率と実質的に同じであるか、または所定の波長域において、前記光学ポリマフィルムの透過率が、エンボス加工を施す前の前記光学ポリマフィルムの透過率と実質的に同じであるフィルムを得るのに効果的であることを特徴とするエンボス付き光学ポリマフィルムの製造方法。